

【作品名】 漢字ビンゴ	【学校名】 日 立 市 立 大 久 保 中 学 校																														
【活用できる領域・教科等】 国語	【制作者名】 千 田 千 鶴 子																														
【制作の意図】 漢字の読み書きが苦手な生徒へ、漢字がいくつかのパーツで作られていることと、読み方に共通点が多いことを理解し、漢字に親しんでもらうために作成した。 机間指導では、生徒に隣で言葉だけで説明するのではなく、辞書やボードを使用して教師がヒントを出したり、生徒同士で話し合ったりして、自分たちで漢字を見つけられるようにした。	【使用方法】 1 ～ 3 人の生徒で操作活動する。パネルは 2 枚分あるので、2 人で対戦できる。その場合 3 人目はカードを引いたり漢字を見つける手伝いをしたりする。 まず、パネルに部首カードを 2 4 枚選んで貼る。次に裏返してあるパーツのカードを引き、部首と合わせて漢字を作れるものがあれば、その場所に貼って漢字を完成させる。候補が複数ある場合でも作れる字は一つだけで、2 人同時に作れる字がある場合は、予備カードを渡して両方平等に作れるようにする。決まった数のビンゴを作るまでカードを引く。																														
【制作上の工夫】 カードはマグネットで付けているので、組み合わせを変えて繰り返し使用できる。単純な暗記にならないよう、組み合わせの候補を複数用意した。	【見取り図】 (ボード) <table><tr><td></td><td>3cm</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・ A 4 の紙に、3 c m × 3 c m の枠を、5 列 × 5 列で印刷し、ホワイトボードに貼る。 (漢字カード) ・ 3 c m × 3 c m に切った画用紙を、更に半分に切り、部首とそれに組み合わせるパーツを油性ペンで書く。裏にはマグネットを貼る。		3cm																												
	3cm																														
【写真】																															
【材料・材質・部品等】 ・ ホワイトボード (A 4) ・ ビンゴの枠 (A 4 で印刷) ・ 画用紙、マグネットシート (漢字カード) ・ 油性ペン (赤・黒) ・ 両面テープ	【使用効果と応用発展】 ゲーム形式のため、当てることの喜びや嬉しさが大きい。そのため、苦手なはずの漢字の学習を進んで行う姿が見られ、1 人だけでなく対人でゲームを行うことができた。																														